

JIS

UDC 617-08 : 001.4

K 3611

生体工学用語（生体システム部門）

JIS K 3611 -1995

(2002 確認)

(2006 確認)

平成 7 年 1 月 1 日 制定

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

著作権法により無断での複製、転載等は禁止されております。

主 務 大 臣：通商産業大臣　　制定：平成 7.1.1

官 報 公 示：平成 7.1.4

原案作成協力者：財団法人 日本規格協会

審 議 部 会：日本工業標準調査会 化学分析部会（部会長 二瓶 好正）

この規格についての意見又は質問は、工業技術院標準部繊維化学規格課（〒100 東京都千代田区霞が関 1 丁目 3-1）へ連絡してください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

生体工学用語 (生体システム部門) K 3611-1995

Technical terms for biological engineering (biosystem)

1. 適用範囲 この規格は、生体工学分野で用いる用語のうち、生体材料工学、生体機械工学及び生体計測工学部門で用いる主な用語について規定する。

2. 分類 用語の分類は、次による。

- (1) 生体材料工学
 - (1.1) 素材
 - (a) 天然高分子
 - (b) 合成高分子
 - (c) セラミックス
 - (d) 金属
 - (1.2) 生体との相互作用
 - (a) 生体反応
 - (b) 生体適合性
 - (c) 生体分解吸収性
 - (1.3) 評価・試験方法
 - (a) 力学特性
 - (b) 表面特性 (表面分析)
 - (c) 安全試験法
 - (1.4) 滅菌
 - (1.5) 応用
 - (a) 診断系
 - (b) 一般外科系
 - (c) 歯科・口こう(腔)外科系
 - (d) 整形外科系
 - (e) 眼科系
 - (f) 血管外科系
 - (g) 胸部外科系
 - (h) 形成外科系
 - (i) 脳神経外科系
 - (j) じん(腎)疾患系
 - (k) 代謝系
 - (l) ドラッグデリバリーシステム系
- (2) 生体機械工学
 - (2.1) 運動メカニズム